

CASE.6

ジャブロ工業株式会社

<http://www.jaburo.co.jp/>

受発注システムを定着させ、効率化と環境改善を遂行



社屋外観

- 事業内容: JPパフ、JPブラシ製造業
- 代表者: 代表取締役 合谷 保爾 氏
- 本社所在地: 神奈川県海老名市本郷1571-1
- 創立年: 1982年
- 従業員数: 21名
- 認証レベル: エコステージ1 (2007年10月取得)
エコステージ2 (2009年9月取得)

主な環境活動項目

- (1) 電気使用量の削減及びCO2排出量の削減
- (2) 燃料及び紙使用量の削減
- (3) 廃棄物の低減
- (4) 長寿命製品及び高性能フィルターの開発
- (5) BCPの体系化

背景・課題

環境を切り口にした経営改善に共感し、導入を決定

ジャブロ工業様は、工業用ブラシやパフを製造販売するメーカーです。ジャブロプレミアム(JABURO PREMIUM)という独自ブランドを立ち上げ、高性能で独創的な製品を開発し、顧客から高い支持を得ています。特に電子部品分野(プリント基板製造分野)では、顧客との直接取引にこだわり、より親密な関係を築きながら活動してきました。その中で、取引先よりEMSの第三者認証取得を求められたのをきっかけに、講習会などを通じて、自社とのマッチングを検討。エコステージが掲げる「環境という切り口から経営改善をしていく」というコンセプトに共感され、認証取得へ向けて取り組みが始まりました。



■エコステージ導入前

活動内容

不要な残業の要因を探り、PDCAを回して徹底改善

まず重点課題の洗い出しを実施し、従業員全員で現状の問題点を環境にこだわらず列挙しました。その中で、受発注管理ソフトの運用が標準化されていない結果、不要な残業(=不要なエネルギー)を引き起こしているという具体的な問題を掘り起こし、この改善を目標としました。また、独創的で長寿命の研磨用パフを普及させることで、社会全体の環境負荷低減に貢献することも目標にしました。目標達成度を定量的に測る判断基準については、月ごとの実績に対して全員で意見を出し合い、浮き彫りになった問題点に一つずつ取り組み、PDCAサイクルを回して対応し、運用を進めていきました。



■エコステージ導入後

効果

幅広い活動が具体化し、「神奈川県優良工場」を受賞

受発注システムを確立することで、業務効率向上を果たしただけでなく、全社員の意識向上につながり、さまざまな活動が具体化し、市場の信頼性も向上しました。たとえば、横浜テクニカルセンターを整理・整頓することで、商品提供時のショールーム拠点に生まれ変わり、強力な営業サポートになるなど効果を発揮しています。PDCAサイクルによって事業継続も見据えた新たなステップに着手し、厳しい市場環境の中でも迅速、適切な行動で取引先企業からの信頼を一層高めました。こうした活動により、経営成績、作業環境などが総合的に評価され、「2011年度神奈川県優良工場」を受賞しました。



■「2011年度神奈川県優良工場」受賞

今後の計画

同社では、顧客との信頼関係をより深く、広く発展させることを目指し、BCPのさらなる強化を予定しています。また、市場のグローバル化に対応し、「海外市場からの要求」に対応できる会社であり続けるため、マネジメントシステムをさらに進化させ、オリジナル商品によって海外の環境負荷低減に貢献することを計画しています。

担当評価員からのメッセージ

当初目標に掲げたのは、営業と工場間の正確かつ効率的な情報交換を目指す受発注管理システムの定着で、業務改善がテーマでした。同社は取引先の要請でエコステージ導入を決められましたが、はじめから紙・ゴミ・電気という捉え方でなく、「環境の切り口から経営改善」との考え方が基本となり、活動の推進力になりました。